

資料1

主要プロジェクト評価について

	事前評価	事中評価
<p><b>主要プロジェクト評価</b></p> <p><b>【目的】</b> 厳しい財政状況の下、府財政に大きな影響を及ぼしうる主要プロジェクトについて、社会経済動向を踏まえつつ、より適切な事業選択をめざすとともに、府民への説明責任を果たすことを目的とする。</p> <p><b>【対象】</b> 府が実施又は関与する主要な、面的開発事業、鉄軌道整備事業及び主要施設整備事業で、現在は10事業が対象。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南河内・健康ふれあいの郷</li> <li>・阪南港阪南2区整備事業</li> <li>・国際文化公園都市シンボルゾーンの形成</li> <li>・水と緑の健康都市</li> <li>・りんくうタウン</li> <li>・阪南スカイタウン</li> <li>・国際文化公園都市モノレール</li> <li>・大阪モノレール(門真以南)</li> <li>・大阪外環状線鉄道</li> <li>・新庁舎</li> </ul> </div> <p><b>【経緯】</b> 平成13年度の大阪府行財政計画(案)において、府主導による新たな面的開発を実施しないことや主要な府立施設構想を廃止するとともに、これら主要プロジェクトの早期完了、採算性の確保に向けたより厳しい点検・評価を行うこととした。</p> <p><b>【府の対応方針】</b> 外部の意見を聴いた上で、府の対応方針を決定する。</p>	<p><b>【類型】</b> 事業着手前の事業計画策定段階のもの</p> <p><b>【実績】</b> H13, H14: 西大阪延伸線、中之島新線</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価の視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府が関与する理由</li> <li>・採算性</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt; 共通項 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を巡る社会経済情勢</li> <li>・事業効果の定量的分析(費用便益分析等)</li> <li>・事業効果の定性的分析</li> <li>・自然環境等への影響と対策</li> <li>・代替案との比較検討</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上位計画等の位置付け</li> <li>・優先度</li> </ul> </div> <p><b>【類型】</b> 総事業費10億円以上を対象(ただし、総事業費50億円以上の施設整備事業については計画段階評価を実施)</p> <p>〔 自己点検: 総事業費10億円未満を対象に、内部評価を実施。 〕</p>	<p>〔 自己点検: 左記10事業を対象に、進捗状況や収支見通し等について、毎年度自己点検し、結果を公表。 〕</p> <p><b>【類型】</b> 現に実施中の事業で、府において見直し案を策定したもの</p> <p><b>【実績】</b> H14: 南河内・健康ふれあいの郷(造成着手)</p> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>H19: 南河内・健康ふれあいの郷 (スポーツゾーンの処分方策)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【評価の視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府が関与する理由(事業の今日的な意義)</li> <li>・採算性(リスク管理等)</li> <li>・代替案との比較検討(見直し案の妥当性等)</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt; 共通項 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を巡る社会経済情勢の変化</li> <li>・事業効果の定量的分析(費用便益分析等)</li> <li>・事業効果の定性的分析</li> <li>・自然環境等への影響と対策</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の進捗状況</li> </ul> </div> <p><b>【類型】</b> 事業規模に関わらず、以下の全事業を対象。(再評価) ・事業採択後5年を経過して未着工 ・事業採択後10年を経過して継続中 ・事業の進捗状況や社会経済情勢の急激な変化等により評価の必要が生じた事業(再々評価) ・再評価実施後、原則5年経過毎に実施</p>
<p><b>建設事業評価</b></p> <p><b>【目的】</b> 建設事業の効率性及び実施過程の透明性の一層の向上を図ることを目的とする。</p> <p><b>【対象】</b> 府又は府が設立する地方独立行政法人が実施する建設事業を対象とする。ただし、災害復旧、補修、改修及び維持管理にかかるものを除く。</p> <p><b>【経過】</b> 再評価(H10~)、事前評価(H13~)、事後評価(H15~)</p> <p><b>【府の対応方針】</b> 建設事業評価委員会を設置し、意見を聴き、その意見を尊重するものとする。</p>	<p><b>【類型】</b> 総事業費10億円以上を対象(ただし、総事業費50億円以上の施設整備事業については計画段階評価を実施)</p> <p>〔 自己点検: 総事業費10億円未満を対象に、内部評価を実施。 〕</p>	<p><b>【類型】</b> 事業規模に関わらず、以下の全事業を対象。(再評価) ・事業採択後5年を経過して未着工 ・事業採択後10年を経過して継続中 ・事業の進捗状況や社会経済情勢の急激な変化等により評価の必要が生じた事業(再々評価) ・再評価実施後、原則5年経過毎に実施</p>